

福住さとねっと

Fukusumi Sato Net

発行：福住地区まちづくり協議会

〒669-2513 丹波篠山市福住 342

TEL&FAX：079-557-0116

メール：fk.machikyo@gmail.com



バス停「福住」待合所の外壁改修費用のご寄付を募ります！

関西大学・住環境デザイン研究室

こんにちは。関西大学・環境都市工学部・建築学科の住環境デザイン研究室です。

私たちは、これまで福住地区の皆様と協力し、地区内のバス待合所の内壁やベンチの設置など、改修作業を行って参りました。

今年度はバス停「福住」待合所の外壁をトタンから焼杉板に張り替える予定でしたが、木材費高騰により丹波篠山市の助成金だけでは補えず、作業を中断している状況です。そこで、建材購入のため下記日時と場所でご寄付を

募ることとなりました。

ご寄付いただいた方への返礼品として、ベンガラで染めた手拭いやコースターなどをご用意しております。また、コーヒーもご用意しておりますので、ご寄付だけでなくバス待合所について皆様のお話も伺えたらと思います。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

活動に関してご不明点やご意見などございましたら、下記の連絡先までご連絡ください。どうぞよろしくお願いたします。

日時のお知らせ

7月29日(土)

13:00 - 16:00

SHUKUBAの校舎前
住吉神社の境内

17:00 - 19:00



手拭いやコースターなどの返礼品をご用意してお待ちしております！

地域おこし協力隊員



いな いな 稲ちゃん活動報告！

福住のサイクリング観光資源

私は丹波篠山市内を自転車ですばしば移動していますが、路面の舗装状態の良さと、どこまでも美しい景色が続くことに、いつも感心しております。

6月に知人の鍼灸師仲間が福住を訪問してくれた際には、自動車で亀岡駅や園部駅まで迎えに参りましたが、その途中で何組ものサイクリストとすれ違いました。

福住の伝建地区を目指して走る人も、多いのではないかと思います。海外の人にも、福住周辺をサイクリングする気持ちよさを知ってもらうことは、良い地域おこし策になるのではないかと、思案しております。



現在の外壁



改修後の外壁イメージ

●問い合わせ

関西大学 住環境デザイン研究室
(代表) 伊藤育実

Tel : 080-9119-9700

Mail : se.starfox.4193@gmail.com

NPO 法人 SHUKUBA 「米粉の日」

- 加工賃：1kgあたり 420円
- 真空パック：1kgあたり 25円
- 申し込み：ご希望の方は加工所営業時間に電話（080-9534-4275）まで
- 営業時間：月・水・木曜日の9時～17時

「米粉の日」は、毎月第4木曜日に定期開催！

7月は27日(木)、8月は31日(木)開催予定です。



連日梅雨空で、うっとうしい天気が続きますね。梅雨の末期で大雨に注意です！散歩をしていると、季節柄アジサイがきれいに咲いています。我が家の桃もだいぶ大きくなりましたが、野鳥が狙っています。黒大豆栽培農家さんの大部分の皆さんは、天気の悪い中、植え付けが終わったようで、あとは成長が楽しみです！なすび・きゅうり・新玉ねぎ・ジャガイモ・丹波篠山産コシヒカリ米のほか、東雲高校からも花束(カーネーション)・奇麗な草花や野菜なども入っています。農家レストラン福住も、丹波篠山産の食材を使ったメニューを準備しお待ちしております！

一本杉販売所だより

丹波篠山市大会を振り返って！

= 全国伝建協総会・研修会福住地区実行委員会 =

思えば長い6年間でした。全国伝建協総会・研修会にその裏方としての協力の重荷から解放された今、その感想を書いておくのも何かの足しになると思います。

手元にあるノートは平成29年8月4日のコミセンでの会合記録から始まっています。役員として気楽に引き受けたものの、実際の展開を企画する場面になって、経験不足は大きく響きました。そもそも用語がわからない、福住の地形や歴史などの説明もできない、河岸段丘の上にあるとか、白井半左エ門さんがどうしたとか、農村集落の形成がどうだ、特徴がどうかとか、はたまた研修会の参加者をどのように導いて案内するか、その動線計画はいかがかとか、……。まったくの白紙の頭に周囲の委員から飛び出す言葉に右往左往の状態に目を白黒したものです。企画、総務、事業という3部門に分け、課題を設けて、それぞれに実施状態を確認する手堅い手法を学びました。

途中、コロナ禍で大会が延びたのは冷却期間でした。この間、福住の旧道を何度となく通り、どのように見えるかを思いつつ歩きました。福住小学校、福住中学校まで都合9年間、歩いてはいましたが、ただ目に映るだけのことであったと反省したり、過去の光景を重ねて懐かしんだり、とても充実した時間でした。やがて次第に福住への移住者も増え、マスコミに登場する機会も増え、丹波篠山市の東の玄関口だとの意識も次第に深まり、周囲の人にも伝わり出したかと思われました。自治会などを通して「デンケン」効果は次第に広がっていったようです。「麒麟が来る」はあいにくでしたが、インバウンドを京都からのツアーに福住を組み込んでうまく運んだようで、ひとつの盛り上がる材料にはなりました。研修会2地区のうち的一方、城下町地区での取り組みはもう手慣れたもので、無電柱化も、山鉾復活もうまく運んだようで、多くの参加者へのあしらいもさすが手慣れたものだと思ふにつけ、わが福住での取り組みは熱が入ったようでした。

○

事業部は実際の見学コースとそのガイドを養成し、時間と見学先の検証など、企画部では全体の運営、駐車場やベンチ、トイレの配置などの計画、総務部は、街道筋に設置する灯籠、花壇やおもてなしなどの諸々のことが課題です。市の各部署との協議、篠山地区との折衝、外部組織との連携協議などなど、数え上げればきりがないくらい多くの案件がありました。そのたびに会合では議論百出の状態に

水無月まつり 4年ぶり開催です！

福住の夏の行事、川原 住吉神社の「水無月まつり」が今年4年ぶりに開催されます。

7月29日(土)午後6時ごろから5基の山車が宮入りし、打ち込み囃子の奉納などが行われます。ぜひ、久しぶりの「水無月まつり」へお越しください！



なり、委員長の土井さん、副委員長の麻田さん、小野田さんがこれらの案件を見事に捌き、とりわけ小野田副委員長の獅子奮迅ぶりは感動的でした。次第に緊張感が高まり、案内のマイクを持っての予行演習は2回、迫真の演技のようで、ガイドの皆さんも熱が入っていました。地元の自治会や住民の支援も大きく、たとえば立派な灯籠の製作提供や、この時期に合わせた美しい花壇提供、小学生の演奏参加、住之江の庭の手入れなど、多くの感動的な事例も見聞きました



やがて、5月22日から24日までの3日間。天気は上々。これで大会の半分は成功したと思ったものです。総会、情報交換会などは市で報告されるでしょうから、省きます。

24日は福住地区の視察で、町並みや移住者の活躍、水無月祭りの山車の披露などがあって、その最終地点が住吉神社と住之江の庭の見学でした。おもてなしの準備をする各所の大勢のスタッフも活気に満ちていて、福住じゅうがかつてないほど活気に満ちているようでした。前日の夜中の雨もあがり、朝日を受けた神社の森も生き生きとしているようで、住之江の庭の濡れ縁には赤い絨毯を敷き晴れの日の形を演出したためか、最初のグループには正座をする参加者もいたほど。丹波篠山にこのような立派な枯山水庭園があることに皆一様に驚かれた様子でした。

○

参加者を乗せた大型バスがゆっくり去っていきます。住吉神社の鳥居越しに地元のガイドや東雲高校の生徒たちと彼らを見送りつつ、長かった準備のあれこれの場面をしきりに思い出していました。

この経験を一つの契機として「住みよいまち福住」、「活力あるまち福住」、「こころの故郷福住」を目指して進んでいきたいと、改めて思ったことでした。

(中西 健治)

福の里農業小学校

= 6月18日の授業 =



黒大豆の苗の植え付けを、午前中に行ないました。小学生ひとり当たり1つの畝を担当して、幼稚園児も1年生も6年生も保護者と一緒の子も、それぞれに頑張りました。

午後には、来月の収穫を楽しみにしながら、大きく育ったジャガイモの畝の雑草を取り除く作業を行ないました。